※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　「古典探究」　（数研出版）						
副教材等	①「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店） ②「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」（いいずな書店） ③「基礎からのジャンプアップノート古典文法・演習ドリル改訂版」（旺文社） ④「〔新版〕読み・解き・覚える 日本文学史必携」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」から引き続き、日本と中国の古典文学作品をより深く読み解いていきます。１年の時に習った古典文法などを用いて、自分で古典文学に触れ、様々な時代の考え方、感じ方を学びます。予習・復習を軸に主体的に学ぶ姿勢を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的 確に捉えること。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説話 ［教材］大江山（十訓抄）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：「読」必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	歌物語 ［教材］初冠（伊勢物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：「読」古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	随筆 ［教材］九月二十日のころ（徒然草）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：「読」文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	歴史物語 ［教材］三船の才（大鏡）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：「読」文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や語り手の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
二学期	軍記物語 ［教材］壇ノ浦（平家物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b：「読」古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	故事 ［教材］買履忘度	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 b：「読」古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査

※令和４年度以降入学生用

		して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。			
三学期	歌物語 ［教材］をばすて山（大和物語）	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:「読」古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	和歌・歌謡・俳諧 ［教材］和歌・歌謡	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:「読」古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	物語 ［教材］光源氏誕生（源氏物語）	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:「読」古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	日記文学 ［教材］/東路の道の果て（更級日記）	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:「読」文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査
	史伝 ［教材］四面楚歌（史記）	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:「読」文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:本文から読みとった人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　※　）時間